

★ 第47回 日本臨床心理学会大会プレセッション ★

- ・日 時：2011年10月28日(金)
- ・場 所：金光教大阪センター(大阪市中央区久太郎町1-4-13)
- ・参加費：1セッションのみ：1000円、2セッション以上：1500円、16:10以降のセッションのみ：無料
 ※ 当事者(精神保健福祉サービスのユーザー)の方は、上記より500円割引いたします。
 ※ プレセッション参加者には本大会の参加費割引があります。領収証をお持ち下さい。

※本大会：第47回 日本臨床心理学会は10月29日(土)～30日(日)、大阪市立大学杉本キャンパスにて開催いたします。詳しくは下記ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせ下さい。

＜当日プログラム＞

時間	内容	タイトル / 登壇者	会場
9:00～	受付開始		
9:30 ～12:30	ワークショップ	共鳴共振力の使い方： 身心一如のセラピー 気功、占い、経絡治療を中心に ・藤原 桂舟(鍼灸院すばるα)【事前に申し込み願います】	中会議室 【30名】
13:30 ～17:00	シンポジウム	魂・祀り・心理 この世とあの世の臨床 ・松本 京子(心理療法家) ・上條美代子(岡田病院看護部/システム看護学会) ・深尾憲二郎(京都大学医学部) ・合田 秀行(日本大学文理学部) ・鎌田 東二(京都大学こころの未来研究センター) ・貫川 幹朗(司会：日本臨床心理学会)	大ホール 【先着順 120名】
13:30 ～16:00	ワークショップ	ヒアリング・ヴォイシズ - 体験に耳を傾ける ・佐藤和喜雄(HV研究会、NPO 福祉会菩提樹) ・吹田例会の聴声体験者有志と李マリジャ(光愛病院) ・高槻例会の聴声体験者有志と福島尚子他 (高槻地域生活支援センター)	中会議室
16:10 ～19:00	ラウンドテーブル ディスカッション	多職種協働現場の専門性 ・百田 功(浅香山病院デイケア 心理士) ・山崎勢津子(浅香山病院 作業療法士) 【事前に申し込み願います】	中会議室 【30名】

★ 金光教大阪センターへのアクセス



■所在地

〒541-0056
 大阪市中央区久太郎町1丁目4番13号
 TEL06-6121-2323 FAX06-6121-6323

■電車ご利用の場合

- ★ 「新大阪」より大阪市営御堂筋線・なかもず行で「本町」まで、→ 大阪市営中央線・学研奈良登美ヶ丘行に乗り、1駅先の「堺筋本町」下車
- ★ 地下鉄堺筋線、中央線「堺筋本町駅」
③号出口または、⑥号出口をまっすぐ東へ、
- ★ 中央区役所手前の交差点を右折、南へ60m

【お問い合わせ】

日本臨床心理学会事務局まで

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

tel. 03-5307-1175 (月～金 10時～17時) fax. 03-5307-1196

E-mail nichirinshin@univcoop.or.jp 学会公式HP: <http://nichirinshin.sakura.ne.jp/>

◆ 9:30～12:30 共鳴共振力の使い方：心身一如のセラピー 気功、占い、経絡治療を中心に
(ワークショップ、中会議室)

講師 藤原 桂舟 (鍼灸院すばるα)

共鳴共振力とは、簡潔にいうと、相手に同調することです。心理療法での共感・受容はその一部です。近代的な「心」に留まらず、靈魂の次元と体の働きをも含めた共振・共鳴です。気功療法、経絡治療、アブライド・キネシオロジー (AK 法)、占いセラピー等でも、診断や治療の土台として、意識的・無意識的に用いられています。このワークショップでは「共鳴共振力」を体験いただき、それを気功や占いと組み合わせた心理アプローチをいくつか提示します。

参加希望者は、一週間前までに、氏名と連絡先を添えて、subarualpha@mail.goo.ne.jp まで、お申し込みください。定員に満たない場合には、当日も受け付けます。

◆ 13:30～17:00 魂・祀り・心理：この世とあの世の臨床
(シンポジウム、大ホール)

人は、どこかから来て生き、病み、老い、死に、いずこへか去る。心の悩みに寄り添うなら、この<謎>の次元を外すわけには行かない。霊、魂、祈り、祀りは近代の学問枠に入らない。しかし人間に必須の何かがある。十九世紀末からの新しい学問・治療法である臨床心理学は、大震災に揺さぶられたいま、己れの成り立ちを根もとから見直す必要がある。目先の「現実」に即応するだけが、仕事ではない。

このシンポジウムでは、臨死体験、体外離脱、夢枕などの具体例を手がかりに、医学と宗教学からの考察を交え、心の真の癒やしのよすがとしたい。
【参加は先着順で120名まで】

シンポジスト：

- ・松本 京子 (心理療法家)
- ・上條 美代子 (岡田病院看護部/システム看護学会)
- ・深尾 憲二郎 (京都大学医学部)
- ・合田 秀行 (日本大学文理学部)
- ・鎌田 東二 (京都大学こころの未来研究センター)
- 司会：實川 幹朗 (日本臨床心理学会/姫路獨協大学)

◆ 13:30～16:00 ヒアリング・ヴォイシズ — 体験に耳を傾ける
(ワークショップ、中会議室)

ヒアリング・ヴォイシズ (以下HV) の考え方に沿って、聴声の体験者たちが定例会をもち、体験を語り合うグループが出来てきた。本企画では、吹田と高槻の聴声体験者たちと例会の世話にあたるスタッフたちが、他の見知らぬ参加者の前で、なるべく自由に話して体験交流をはかろうと試みる。聴声を体験しない参加者たちには、後半に体験者や支援スタッフと自由に話し合う場が提供される。HV 体験を話すことの意義と聴くことの意義が確認されるだろう。

スピーカーと進行役

- ・吹田例会の聴声体験者有志と李マリジャ (光愛病院地域連携室)
- ・高槻例会の聴声体験者有志と福島尚子 (高槻地域生活支援センター)、例会スタッフ：宮田牧子、川田美和
- 進行：佐藤和喜雄 (HV 研究会、NPO 福祉会菩提樹)

◆ 16:10～19:00 多職種協働現場の専門性
(ラウンドテーブルディスカッション、中会議室)

多職種がひとつのチームとして働く現場で『協働のありよう』がしばしば話題に上ります。そこにはどのような特性や強みがあるのでしょうか。今回はさまざまな多職種協働現場で働く皆さんと日頃の実践や気づきを共有できれば……と考えています。所属、職種、氏名を明記し、メールで申し込んでください (無料、先着順30名)。問い合わせ&申込先：remaindersofdc@yahoo.co.jp

企画者：

- ・百田 功 (浅香山病院デイケア 心理士)
- ・山崎 勢津子 (浅香山病院 作業療法士)